

優秀賞

一般シール受注入力業務の Delphi/400化

寺西 健一 様

大阪シーリング印刷株式会社
IT 推進部
情報システム課
主査



大阪シーリング印刷株式会社
<http://www.osp.co.jp/>

1927年創業以来、加工業としての本業に徹した堅実経営を貫き、主に凸版印刷を中心とした原紙製造から印刷までの一貫生産工程を軸に、全国をオンラインで結ぶ営業・生産ネットワークを活用。シール業界のリーディングカンパニーとして、印刷の枠を越えた総合パッケージメーカーとして事業を展開している。

業務課題

従来、一般シールの受注入力を PC の 5250 画面で行っていたが、画面項目が約 150 まで増加したため、以下のような問題により入力が困難となった。【図 1】

- ・タブが使えないので、すべての項目を 1 画面で入力する必要がある。
- ・画面項目を長い間追加してきた経緯により、項目の並びが業務の流れに沿った順番になっていない。
- ・画面上に説明が少ないため、慣れたユーザーしか入力できない。
- ・連続入力時に 5250 セッションのマクロ機能を使用しているが、マクロ入力がずれた項目に登録され、画面がかたまる問題が指摘されていた。

そこで、GUI 化による問題解決に向けて、Delphi/400 で受注入力画面を作成・開発した。

技術課題

入力者が従来の画面に慣れているので、Delphi/400 画面にも同様の動きを組み込むことが課題となった。

具体的には、以下の 3 つの要望があった。

- 右 Ctrl キーによる実行動作
- タブによる複数画面の項目展開
- コピー新規登録、ひな形からの入力

また今回の GUI 化をきっかけに、以下の課題にも取り組んだ。

- 入力者ごとのデータ表示
- 難しい項目や専門用語などに対するヘルプ表示

技術課題の解決策

物理ファイルの構成を QTEMP ではなくメンバーを使用するようにしたうえで、上記の課題に対し、以下のように解

決した。

- 右 Ctrl キーによる実行動作

Tform のイベントのキーボード操作に VK_CONTROL (仮想キー) を組み込み、5250 セッションによる右コントロールキーを有効にした。【図 2】

- タブによる複数画面の項目展開

TPageControl を配置し、複数タブの入力項目を配置するように対応した。

- コピー新規登録、ひな形からの入力
- コピー機能はメンバー指定からのデータのみを使い、そのままフィールドをコピーし、その値を埋める形で実現させた。

- 入力者ごとのデータ表示

メンバーに保存したデータを使用して、入力者ごとにデータを見られるようにした。具体的には、TTable コンポーネントでメンバー指定を行った。【図 3】

図1 従来の5250画面

図2 右Ctrlキーの制御

```
// コントロールキーが押されたか?
if Key = VK_CONTROL then
begin
    // 右のコントロールキーが押されたか?
    if RControl then
    begin
        Key := 0;
        // フォーカスが移せるかどうか判別し、
        // Trueであればフォーカスをセットする。
        if BtnNext.CanFocus then
            BtnNext.SetFocus;
        BtnNext.Click;
    end;
end;
```

図3 物理ファイルのメンバー指定

```
// LBDL1F (入力中データ)
Tb1LBDL1F.TableName := cWorkLib + 'LBDL1F(' + FileMember + ')';
// WriteLog('Tb1LBDL1F.TableName');
```

(e) 難しい項目や専門用語などに対するヘルプ表示

ヘルプ専用画面を作成し、難しい項目や専門用語をクリックして表示できるようにした。

業務課題解決と効果

完成した画面は、業務の流れに沿ってタブごとに入力項目が整理されたことで、1件当たりの入力時間が5分から2分弱へと、大幅に工数を削減できた。

【図4】

またヘルプ画面を表示させることにより、入力方法に関する知識をもたなくても入力できる画面を実現した。【図5】

今後も機能を追加し、より効率的に受注業務が行えるように進めていきたい。

M

図4 Delphi/400による受注入力画面

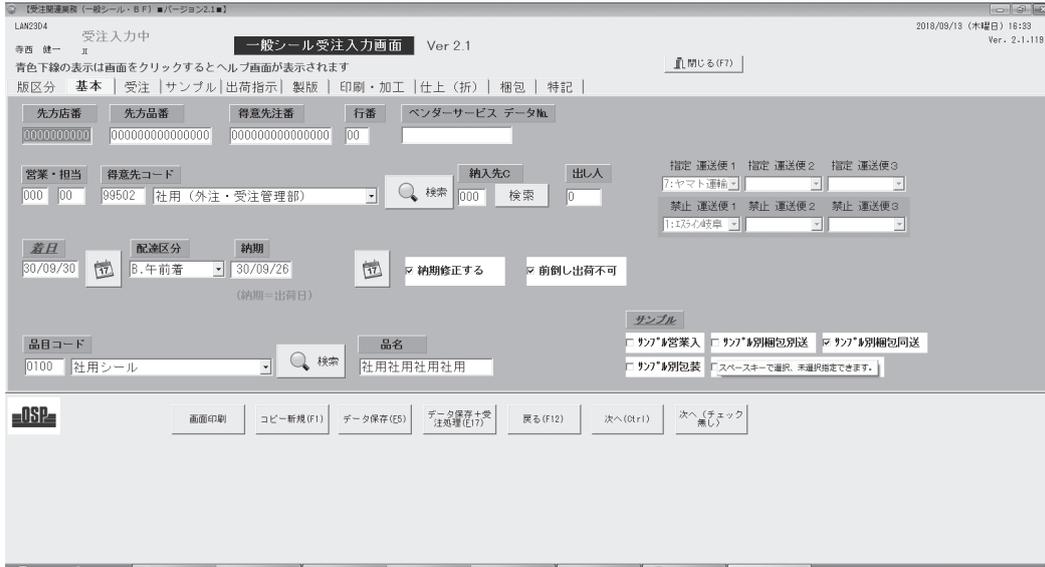


図5 ヘルプをクリックして詳細なヘルプ画面を呼び出し

